

## 川崎区地域自立支援協議会

## ＜川崎区について（平成 26 年 1 月末現在）＞

人口	：	218,482人
障害者手帳の取得者数	：	身体障害者手帳 7,118人
		療育手帳（判定のみの方は含まず） 1,360人
		精神保健福祉手帳 1,411人

## ＜川崎区自立支援協議会の特徴＞

- ① 川崎区は市内の区の中で一番面積が広く保健福祉センターと 2 つの支所があり、事業所も多い為、多数の構成員で形成されています。
- ② 月に 1 回の協議会を開催している。全体での意見交換会の他に各グループでの委員会活動を行い、協議会を盛り上げています。

## ＜今年度の目標と方向性＞

- ① 毎月の全体会議の中で、ひとつのテーマに対して小グループに分かれて「意見交換会」を行い、様々な立場や職種で多角的にテーマについて検討し、共有しています。
- ② 意見交換会で出された課題等については、課題整理ワーキンググループへつなげ、市内での共有を目指しています。
- ③ 「災害対策」「こども」「暮らし」という 3 委員会に分かれ、地域性を意識した内容で地域生活を営む上での課題を共有し、明らかにしていきます。

## ＜今年度の区全体会議＞

第 1 回 4 月 9 日（火）14：00～17：00 川崎区役所にて

各事業所の担当自己紹介と事業所紹介

今年度の自立支援協議会について

①昨年度の報告

②今年度の全体運営内容について

③委員会活動 ～今年度の活動方針～

その他

あおぞら共生会より平成 25 年 5 月に新設される事業所の紹介

第 2 回 5 月 14 日（火）14：00～17：00 川崎区役所にて

新規事業所自己紹介と事業所紹介

①川崎区の事務局会議の報告と提案

昨年度の協議会の反省から、今年度は「意見交換」という形で話し合い、その中から課題整理グループに報告していくことを提案し了承を得られる。

②委員会活動

その他

会場の川崎区役所が手狭なため、次回からは、南部身体障害者福祉会館となる。

- 第3回**      **6月11日(火) 14:00~17:00**      **南部身体障害者福祉会館にて**
- ①意見交換会「障害福祉について困り事、悩み事などの意見を出し合う」  
「運営主体が変わる南部療育センターの動向」  
「事業所の送迎車盗難について」 などの情報交換、共有をする。
  - ②委員会活動
  - その他  
難病についての連絡会議（7月10日実施）の案内

- 第4回**      **7月9日(火) 14:00~17:00**      **南部身体障害者福祉会館にて**
- ①課題整理ワーキンググループからの報告
  - ②意見交換会「精神疾患の方への栄養指導」「学齢時の放課後支援」「送迎」  
「親子の高齢化」
  - ③委員会活動
  - その他  
手をつなぐ体育祭の参加団体への呼びかけ  
川崎区内の地域活動支援センターへの声掛け案内について  
「くさびえの家 短期訓練事業」の説明について

- 第5回**      **8月6日(火) 14:00~17:00**      **南部身体障害者福祉会館にて**
- 事業所の紹介「くさびえの家 短期訓練事業」  
地域活動支援センターへの参加の声掛けについて
  - ①意見交換会 「親子の高齢化 ～事例を通して～」
  - ②委員会活動
  - その他  
ブラダー・ウイリー症候群研修会の案内

- 第6回**      **9月10日(火) 14:00~17:00**      **南部身体障害者福祉会館にて**
- ①意見交換会 「親子の高齢化 ～前回のまとめ～」  
第5回・6回の内容をまとめ、課題整理ワーキンググループに提案する。
  - ②委員会活動

- 第7回**      **10月8日(火) 14:00~17:00**      **南部身体障害者福祉会館にて**
- ①意見交換会 「虐待の疑い・心配のあるケースについて」
  - ②委員会活動
  - その他  
田島養護学校より、公開授業についての案内

- 第8回 11月12日(火) 14:00~17:00 南部身体障害者福祉会館にて  
 ①意見交換会 「虐待の疑い・心配のあるケースについて」  
 ②委員会活動
- 第9回 12月10日(火) 14:00~17:00 南部身体障害者福祉会館にて  
 ①委員会活動  
 ②意見交換会 「地域包括支援センターとの意見交換会」  
 その他  
 第3回川崎市地域自立支援協議会連絡会議の報告
- 第10回 1月14日(火) 14:00~17:00 南部身体障害者福祉会館にて  
 ①意見交換会  
 「生命のことづけ～死亡率2倍 障害のある人たちの3.11」鑑賞  
 ②委員会活動  
 その他  
 「川崎区第4期川崎区地域福祉計画(案)区民説明会」開催のお知らせ
- 第11回 2月18日(火) 14:00~16:00 南部身体障害者福祉会館にて  
 ①今年度のまとめ  
 ・意見交換会  
 ・委員会活動  
 その他  
 「高齢のアルコール依存者への支援について」情報提供
- 第12回 3月11日(火) 14:00~17:00 南部身体障害者福祉会館にて  
 ①来年度に向けて(アンケート結果をもとに)  
 ・来年度の活動内容  
 ・委員会活動  
 その他  
 事業所紹介

### <具体的な取り組み内容>

#### ○意見交換会

##### 1、全体を通して

平成25年度より参加者が気軽に困っていることや悩みを相談できる場として新たに意見交換会を実施しました。その結果、事業種別の異なる参加者がそれぞれの持つ悩みや課題を知ることができたこと、その上、同じような悩みを持つ事業者がいることを参加者同士で把握できました。また、一度開示した課題について答えやヒントをもらい、その後の支援の進展を参加者で共有できた等、当初想定していなかった効果もみられました。

交換会は、一つのテーマで話し合ってもらい、それを全体に報告する形で行いました。

意見交換会は、地域における課題を発見・検討するという協議会の目的のために実施しており、効果が上がっているとみています。課題の検討にまだ改善の余地はありますが、今後も継続する方向で検討しています。

## 2、川崎区の課題について（今年度の構成員による意見交換会をもとに設定）

### ①親子の高齢化

川崎区の特徴ともいえる、親子の高齢化。高齢の親世代の考え方（制度を利用せず、自分たちで育てていく。）など考慮し、困り感のない、他者の介入を拒むケースについて事例を基に検討しています。支援する側として、どのようなことに配慮すべきか（生活実態の把握・親子分離の必要性や介入のタイミング・関係機関の連携など）、本当に介入が必要なのかどうか。「親亡き後」について考えることができていない対象者に対して、そのような言葉を伝えるだけでも漠然とした不安を与えてしまうことも考えられます。支援者として「親の抱え込み」という見かたではなく、より対象者の気持ちや現状（「できている」）に寄り添う方法を考えていくということが必要となりました。

### ②虐待の疑い・心配のあるケースについて

障害者虐待防止法が制定されて1年が経過しています。多くの構成員が通報方法や虐待の定義などの研修に参加しています。制度上の壁や通報の実態なども見えてきてはいるが、実際に虐待の疑いや心配のあるケースについてどのような対応を取り、その中で感じた対象者へのケアなどを話し合っています。



（意見交換会の様子）

## ○専門委員会

### 1、こども委員会 ～こどもへの支援の実情を把握しよう～

こども委員会では 今年度川崎区ならではの課題に取り組もうと言う事で、年度当初検討しました。

多国籍の子どもに対して、親とのコミュニケーションが大変という現場の声がありました。障害がある、ないに関わらずどのくらい多国籍の方が住んでいるのか調べたところ、川崎区は7区中1番多いことがわかりました。

相談できる場所、どんなサービスがあるかが一目でわかる物を作ろうと、英語、韓国・朝鮮語、中国語、タガログ語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、日本語の8か国のパンフレットを作成しました。

公共機関や、幼児、児童に関わる機関などで、役立てたらと思います。

### 2、災害対策委員会 ～地域への呼びかけ・周知～

災害への備えや災害発生時の対応など幅広い議論を行ないました。その中で委員会としてまとめた以下の提言をもって今年度の活動報告とします。

「川崎市の防災計画策定に障害当事者及びその家族や支援者を参画させること。

東日本大震災では、障害者にとっての防災計画や備えが甘かったと評価せざるを得ない。川崎市の防災計画策定に障害者やその支援者を参加させ、障害者の目線を取り入れた、誰にとっても活用しやすい防災計画を作成すること。

計画策定に留まらず例えば訓練への参加や日ごろの情報共有等障害者側からの積極的な参加に加え、緊急地震速報を聴覚障害があっても容易に伝達できるようにする等、普段の体制を整えることもあわせて行うこと。」

東日本大震災を自らの危機と捉え、障害者や支援者が日頃から東日本大震災のような大規模災害を意識することで自分たちは何をすれば良いかと自問自答する、そうした機会を地域で作り続けることが必要です。

### 3、暮らし委員会 ～暮らしの中での困り感～

新たな委員会発足に当たり、「障害を持つ方の暮らし」という大きな枠組みから、テーマを焦点化していくことにしました。委員は川崎区内の生活介護事業所、就労継続支援事業所、地域活動支援センターなど日中活動系サービス提供者を中心に構成されました。指針として、支援者が支援で孤立しないように「援助者を援助する」サポーターな関係をもつことで、暮らしに寄与できるのではないかと考え、支援者が日々感じる疑問に答える、情報を共有する、問題解決の糸口を話し合うといった自由な意見交換の場としました。「災害時ヘルプカードの作成」「単身生活者が急な発病時のサポート体制」「福祉マップの作成」「訪問系サービスの内容及び留意点」「計画相談の仕組み」「虐待対応」など制度・システムの解釈から個別支援相談など多岐に渡りました。



(委員会活動の様子)

＜次年度はこんなことをします！・・・あるいはこんなことしたいな～

#### ・当事者参加について

今年度は途中で当事者の方が辞退したこともあり、次年度からの当事者参加について、地域自立支援協議会への参加や当事者の声をどのような形で反映するかを検討していきます。

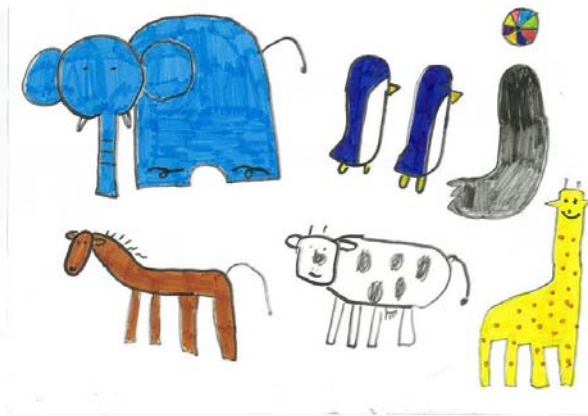
#### ・研修

自立支援協議会として「地域づくり」を進めていくうえで、構成員が課題の確認がで

きるような研修を実施し、地域で暮らす障害者の方へ支援者としてどのようなことができるのかを共有していきます。また、広報については地域に発信する方法を検討していきます。

- 意見交換会

今年度設定した意見交換会では、意見を出しやすく、構成員が抱えている悩み等が多かったです。来年度はさらに内容を発展させ、テーマに対して、具体的な支援方法や地域との連携などが整理できるような意見交換会にしていきます。



〈文責:小田川 容子〉

平成 25 年度川崎区障害者地域自立支援協議会 構成員

	所属	氏名
1	かわさき基幹相談支援センター	阿部 千鶴子 熊谷 真理 小田川 容子 楠瀬 翠
2	地域相談支援センター ふじみ	北嶋 寛子 中里 光宏
3	地域相談支援センター いっしょ	加藤 祥子
4	地域相談支援センター かわさき Life	七井 貴洋
5	川崎区保健福祉センター	加藤 啓史
6	大師地区健康福祉ステーション	鈴木 孝幸
7	田島地区健康福祉ステーション	大谷 遼馬
8	川崎市精神保健福祉センター 地域支援担当	三井 真由美
9	川崎市障害者更生相談所	藤井 隆
10	南部地域療育センター	戸村 美緒里
11	南部地域療育センター 準備室	小島 久美子
12	川崎市発達相談支援センター	佐々木 一成
13	川崎区社会福祉協議会	下北 直由佳
14	川崎市立田島養護学校 地域支援	田中 雄三
15	川崎市立田島養護学校 PTA	齋藤 政代
16	川崎市身体障害者協会	菅野 とき
17	ゆずりは園	国貞 敦士
18	わたりだ	三宅 武幸
19	むぎの穂	泊 昇
20	かざぐるま	
21	ノーマ・ヴィラージュ聖風苑 いけがみ	徳永 由紀子
22	れいんぼう川崎	浦田 健司
23	南部身体障害者福祉会館作業室 飛行船	松尾 潔
24	ふじみ園	丸山 尚
25	青丘社 ほっとライン	西巻 奈美
26	川崎南部就労援助センター	西村 和恭
27	わーくす大師	岸岡 裕江
28	わーくす日進町	長尾 早苗
29	わーくす大島	松塚 典昭
30	川崎市盲人図書館	安藤 恵子
31	地域活動支援センター かもめ	岩崎 祐一郎
32	地域活動支援センターなのはな	小林 伸也
33	地域活動支援センター 系ぐるま	安藤 敏
34	地域活動支援センター がんばるぞ大師	鈴木 貴彦

35	川崎市わーくす川崎 開設準備室	石井 淳
----	-----------------	------



## 幸区地域自立支援協議会

### <幸区について（平成26年1月末現在）>

人口	:	157,474人
障害者手帳の取得者数	:	身体障害者手帳 4,899人
		療育手帳（判定のみの方は含まず） 963人
		精神保健福祉手帳 1,029人

### <幸区地域自立支援協議会の特徴>

- ① 幸区地域自立支援協議会の構成員について  
相談支援事業所（4ヶ所）と保健福祉センターを中心に、障害福祉サービス事業所、特別支援学校、障害児者専門機関、当事者からの参画をいただき、運営しています。
- ② 幸区地域自立支援協議会実施状況について  
事務局会議（月1回）と全体会議（月1回）を実施しています。  
事務局会議では、今年度より地域相談支援センター3ヶ所も事務局メンバーとして運営に携わる事となり、基幹相談支援センター、保健福祉センターと共に、全体会議で取り上げる内容、委員会の取り組みなどについて確認を行っています。  
全体会議では全体で協議する場と委員会ごとに分かれての活動の2部構成で行っています。

### <今年度の目標と方向性>

- ① 連携委員会  
利用者に必要な情報やサービスが得られるよう、地域の体制作りを目指します。昨年度実施した地域包括支援センターとの連携、特別支援学校との連携を引き続き実施します。また、民生委員へのアンケートであがった意見をもとに、民生委員との連携を図りたいと考えています。
- ② 広報委員会  
相談支援改編と幸区地域自立支援協議会の周知を目的に地域市民向けの広報誌作成、川崎市のホームページの活用などの広報活動で幸区地域自立支援協議会の認知度をあげていきます。
- ③ 当事者委員会  
当事者の方が抱えている生活のしづらさ、想いを声に出してもらい、住みやすい地域づくりに向け当事者中心の委員会を目指していきます。今年度は当事者の方が協議会に参加して2年目であり、幸区地域自立支援協議会メンバーとしての意識を改めて確認し、地域で生活する当事者の方々の声を生かし、生の声を発信できる機会を設けていきたいと考えています。
- ④ 課題整理委員会

福祉サービスにおける様々な課題についてニーズを把握したり、必要に応じて市へ提言するための準備をします。昨年度実施した「成人期のナイトケア」アンケートについて引き続きニーズや課題を分析します。また、地域生活での課題がより多く吸い上げられるような機会を検討、実施し、どんな小さな課題でも、皆で情報を共有して日々の支援に活かしていきたいと考えています。

### ＜今年度の区全体会議＞

- 第1回 4月16日（火）15：00～17：00 御幸日中活動センター  
各事業所の担当自己紹介と事業所紹介  
市協議会と区協議会の目的、機能について確認  
今年度の自立支援協議会について
- ・今年度の年間予定
  - ・事務局に地域相談支援センターも今年度より参加
  - ・委員会の確認（昨年度に引き続き継続）  
①連携委員会 ②広報委員会 ③当事者委員会 ④課題整理委員会
- 第2回 5月21日（火）15：00～17：00 御幸日中活動センター  
各委員会より今後の予定について報告
- ・連携委員会：民生委員との連携、地域包括との情報交換についての検討  
田島養護学校保護者への説明会検討
  - ・広報委員会：広報誌内容の検討
  - ・当事者委員会：当事者の関わりについて検討
  - ・課題整理委員会：ナイトケアアンケート（昨年度）集計
- 第3回 6月18日（火）15：00～17：00 御幸日中活動センター  
幸区福祉避難所ネットワーク協議会について説明  
区協議会摘録フォーマット、各委員会記録についての確認  
市協議会ワーキンググループ報告
- ・連携委員会：民生委員、田島養護学校との連携検討
  - ・広報委員会：広報誌レイアウト検討
  - ・当事者委員会：6月24日（月）第1回当事者参加についての打合せ  
昨年度振り返り、協議会委員としての役割確認、今年度の方向性確認
  - ・課題整理委員会：ナイトケアアンケート集計、課題の挙げ方についての検討
- 第4回 7月16日（火）14：00～17：00 幸区役所内プレハブ  
事例検討  
フリートーク（グループに分かれて、課題の抽出）

- 連携委員会：民生委員、田島養護学校との連携進捗状況確認、検討
- 広報委員会：広報誌レイアウト検討
- 当事者委員会：7月29日（月）第2回当事者参加についての打合せ  
今年度活動検討（当事者委員として相談支援センターの周知など）
- 課題整理委員会：フリートーク内容のカテゴリー分け

第5回 8月20日（火）15：00～17：00 御幸日中活動センター

市協議会ワーキンググループ報告

区自立支援協議会まとめについての提案、協議

- 連携委員会：田島養護学校 PTA 家庭学級説明会内容、地域包括との交流会内容検討。
- 広報委員会：広報誌作成作業、ホームページ活用検討
- 当事者委員会：8月26日（月）第3回当事者参加についての打合せ  
当事者目線のパンフレット内容検討、11月より区内施設3ヶ所、田島養護 PTA 家庭学級（連携委員企画）にて当事者による体験談、協議会での役割などの説明を実施予定。
- 課題整理委員会：カテゴリー分けした課題についての検討

第6回 9月17日（火）15：00～17：00 御幸日中活動センター

区協議会の年間まとめについて、目を通してもらえるようなボリューム感、内容。共通フォーマットを作成予定。

各委員会で作成するパンフレット類について、ターゲット、内容の重複などはないかの確認作業。

市協議会ワーキンググループ報告

- 連携委員会：田島養護学校 PTA 家庭学級説明会内容、地域包括との交流会内容検討。
- 広報委員会：区協議会パンフレット「わいわいさいわい」作成中。
- 当事者委員会：当事者による体験談原稿作成
- 課題整理委員会：カテゴリー分けした課題についての報告。区内で解決できること、課題整理ワーキングにあげる仕分け。

第7回 10月15日（火）15：00～17：00 御幸日中活動センター

第3回川崎市地域自立支援協議会連絡会議における幸区発表テーマについての検討。発表者選出について各委員会へ依頼。

市協議会広報ワーキンググループ報告

- 連携委員会：田島養護学校 PTA 家庭学級説明会内容、地域包括との交流会内容検討。

- 広報委員会：区協議会パンフレット「わいわいさいわい」広報場所、配布枚数等検討。
- 当事者委員会：幸区内訪問施設など検討
- 課題整理委員会：区内で検討すべき課題、具体的動きに向けての検討

第8回 11月19日（火）14：00～17：00 幸区役所プレハブ

事例検討

市協議会広報ワーキンググループ報告

- 連携委員会：田島養護学校 PTA 家庭学級説明会内容、地域包括との交流会内容検討。
- 広報委員会：区協議会パンフレット「わいわいさいわい」完成
- 当事者委員会：幸区内訪問施設を別日程で訪問。
- 課題整理委員会：おやじの会（仮称）立ち上げに向けての企画検討

第9回 12月17日（火）15：00～17：00 御幸日中活動センター

幸区福祉避難所ネットワーク協議会報告

市協議会広報、課題整理ワーキンググループ報告

- 連携委員会：田島養護学校 PTA 家庭学級説明会報告、地域包括との交流会内容検討。
- 広報委員会：区協議会パンフレット「わいわいさいわい」取り扱いについて検討
- 当事者委員会：幸区内訪問施設を別日程で訪問。
- 課題整理委員会：おやじの会（仮称）立ち上げに向けての企画検討

第10回 1月21日（火）14：00～17：00 日吉出張所

高齢障害分野意見交換会

障害、高齢制度説明、グループワーキング

市協議会広報ワーキンググループ報告

区自立支援協議会まとめについての提案

第11回 2月18日（火）15：00～17：00 御幸日中活動センター

区役所障害者支援係職員より課題提案

市協議会ワーキンググループ報告

区協議会予算について

各委員会にて今年度まとめ、次年度に向けての確認

第12回 3月18日（火）15：00～17：00 御幸日中活動センター

## <具体的な取り組み内容>

### ○全体

- ・年度初めに市協議会と区協議会の目的を確認する場を持つ事で、果たすべき役割について共通認識を持つ事ができました。また、全体会議進行を事務局構成員、全体会議記録を区協議会構成員で持ち回りにすることで、区協議会の構成員としての意識を持てるようにしました。
- ・各委員会での活動を記録に残し、その記録を全構成員に随時メール配信することで、幸区で取り組んでいる内容を全構成員が把握できるよう努めました。

### ○連携委員会

- ・平成25年7月17日 幸区民生委員協議会 会長連絡会で、平成24年度アンケートの集計結果の報告と、協議会の説明を行いました。
- ・平成25年12月6日 田島養護学校 PTA 家庭教育学級にて、養護学校の保護者を対象に、「豊かな地域生活をおくるために」というテーマで、川崎市の相談支援の仕組みの説明や、相談支援センターの機能の紹介、当事者委員会の協力を得て、当事者自らが、地域でどのような生活をしているのか、発表を行いました。
- ・平成26年1月21日 幸区内の地域包括支援センターと区協議会の意見交換会を企画しました。パワーポイントで、互いの支援内容について説明を行い、グループディスカッションで情報交換などを行いました。

### ○広報委員会

- ・幸区地域自立支援協議会の幅広い周知を目的に、広報パンフレット「わいわいさいわい」を作成しました。
- ・幸区ホームページの活用方法について検討しました。

### ○当事者委員会

- ・障害者相談支援センター利用案内パンフレット「これ知っとう！さいわい」を作成しました。
- ・幸区内にある日中通所施設3ヶ所を訪問し、作成した利用案内パンフレットの配布および当事者委員による利用体験談発表を通じて、障害者相談支援センターについてPRをしました。

### ○課題整理委員会

- ・フリートークによる課題抽出を行い、課題をカテゴリー分けしました。
- ・「おやじの会」立ち上げのためのイベント「お父さんと障がいがある子どものアートフットボール講座」を開催しました。



## <次年度はこんなことします！…あるいはこんなことしたいな～>

- 今年度同様に、協議会構成員のネットワークを活かしながら、障害分野、児童分野、高齢分野などとの連携を図る企画を検討します。また、連携を視点に置いたテーマを設け、ネットワーク作りに着手するなど、活発な取り組みを行います。
- 幸区地域自立支援協議会パンフレット「わいわいさいわい」のリニューアル及び幸区ホームページを活用します。
- 「障害者相談支援センター」をもっと多くの方に知ってもらうため、平成25年度中に訪問できなかった日中通所施設や他の事業所にもPRを行います。
- 平成27年度の当事者委員の選任方法について具体的に検討を行い、幸区地域自立支援協議会らしい「当事者参加」を目指します。
- おやじの会立ち上げのためのイベント開催は、余裕をもって場所などの確保に努め、ゆとりある申込期間を設定し、情報提供も丁寧に行っていきます。
- 小さな課題にも目を向け、解決していく姿勢を持つことをテーマに、来年度もフリートーク形式で、課題抽出をはかります。
- 現在の委員会の形態を残しつつ、出てきた課題に柔軟に取り組めるよう、全体組織について検討します。

(文責：さいわい基幹相談支援センター 小川 尚人)

幸区地域自立支援協議会 構成員

	所属	氏名
1	幸区役所高齢障害課障害者支援係	浅谷 初穂
2		鶴見 亜呂
3	さいわい基幹相談支援センター	小川 尚人
4		野村 鼓
5		林 京子
6	地域相談支援センターラルゴ	日野 淳
7		和田 緑
8	地域生活支援センターあんさんぶる	吉澤 美香
9		勝呂 ちひろ
10	障害者生活支援センターりぼん	小林 しのぶ
11		熊澤 真美
12	御幸日中活動センター	馬場 忠司
13	川崎ふれあいの会	牧野田 恵美子
14	南部地域療育センター	高野 真悟
15	南部地域療育センター準備室	江良 泰成 井上 純
16	市立田島養護学校	田中 雄三
17	県立中原養護学校	千葉 綾子
18	県立鶴見養護学校	大関 進也
19	れいんぼう川崎在宅支援室	浦田 健司
20	精神保健福祉センター	三井 真由美
21	障害者更生相談所	小嶋 和津江
22		藤原 美和
23	当事者の方（委員会との別日設定）	5名

## 中原区地域自立支援協議会



### <中原区について（平成26年1月末現在）>

人口	:	240,888人
障害者手帳の取得者数	:	4,894人
身体障害者手帳		
療育手帳		995人
精神障害者保健福祉手帳		1,171人

### <中原区地域自立支援協議会の特徴>

- ①保健福祉センターと相談支援事業所を中心に、障害福祉サービス提供事業所、教育機関など構成員も多岐になっています。
- ②月1回の全体会議に向けて、保健福祉センター・相談支援事業所による事務局会議を毎月実施しています。
- ③当事者の方が主催する集いの場「なかはらファミリー」を協議会がバックアップする形で開催しています。準備段階から実行委員の方と打ち合わせを重ね、第5回なかはらファミリーを実施しました。
- ④川崎市地域リハビリテーションセンターの再編の動きがあり、既存施設の移転や、改修及び新規施設の整備が行われています。再編整備による民間法人等の指定管理受託で、今後変化が予想されます。
- ⑤今年度は事前に割り振りを行い、各月ごとに各委員会の中から1実践例を出し合い検討する機会を設けています。

### <今年度の目標と方向性>

- ①地域移行委員会…昨年度課題としてあがった地域移行の課題、「地域の受け皿の少なさ」を元に、受け皿となるGH/CHを運営している市内の法人向けに物件確保についてのアンケートを実施します。また、実際に支援を受けながら地域移行を目指している当事者の方をゲストにお呼びして、地域移行に向けての実際を話していただき、構成員でさらに課題などを検討し、理解を深めていきます。
- ②まちづくり委員会…避難所と二次避難所との関係性、二次避難所と関係の深い地域福祉課との連携、要援護者登録の現状など今年度は防災にスポットを当て、地域の防災対策への理解を深めると共に、課題を抽出していきます。
- ③児童委員会…昨年度実施したアンケートを集約し、課題の抽出・検討や、実践を通して感じる児童の支援、児童相談支援の課題整理表にて検討します。また、児童に関する行政の体制がわかりにくいといった声から、児童家庭課の方をゲストに招き、児童相談についてお話いただき理解を深めていきます。
- ④なかはらファミリー…昨年度から引き続き、当事者主体の集いの場を後方支援します。



- ⑤なかはら健康福祉まつり…協議会として参加。中原区のゆるキャラを作ります。
- ⑥パンフレット…センターの名称等が大きく変わったため、新たなものを作成します。

＜今年度の区全体会議と専門部会＞

**第1回 【全体会議】 4月19日（金）14：00～17：00 中原区役所**

- ・自己紹介
- ・平成24年度の活動内容の振り返り
- ・今年度の活動内容・年間予定確認
- ・役割分担

**第2回 【全体会議】 5月17日（金）14：00～17：00 中原区役所**

- ・区役所からの情報提供
- ・川崎市地域自立支援協議会の報告
- ・専門委員、渉外・広報活動話し合い

**第3回 【専門委員会】 6月21日（金）14：00～17：00 中原区役所**

- ・児童委員会…昨年実施したアンケートの考察・課題の抽出  
わになろう会より「学齢期の不登校児に対するケア」実践例の報告・検討
- ・地域移行委員会…ケアホームを運営している法人へ、物件を探す上での問題点等のアンケート実施（7～8月）
- ・まちづくり委員会…二次避難所との関係が深い、健康福祉局地域福祉部地域福祉課との連携。質問項目の精査（要援護者登録者数、障害種別の対応、二次避難所数など）
- ・なかはらファミリー…実行委員、第5回なからはファミリーの日程の決定。

**第4回 【全体会議】 7月19日（金）14：00～17：00 桜の風**

- ・桜の風の施設見学、施設概要、ショートステイ機能について説明
- ・地域移行委員会実践例の検討 〈ゲストスピーカーをお呼びしての報告会〉  
～長期入院からの地域移行／『病院から退院してグループホームに入りたい！』～
- ・グループ討議

**第5回 【専門委員会】 8月23日（金）14：00～17：00 中原区役所**

- ・まちづくり委員会…高齢・障害課早坂課長をゲストスピーカーにお呼びして、2次避難所についての質問に対し、回答をいただく。
- ・児童委員会…実践例の検討～ご家族（母）が入院してしまった4歳の児童～
- ・地域移行委員会…アンケートを10月中に送信予定。
- ・なかはらファミリー…日程の決定・報告、チラシの配布
- ・パンフレット…広報グループと連携し、パンフレット作成。年間まとめ冊子の検討。
- ・なかはら福祉健康まつり → ゆるキャラのプリントTシャツ作成を検討。

**第6回 【全体会議】 9月20日（金）14：00～17：00 中原区役所**

- ・児童家庭課サポート担当青木氏より業務内容や対象者などについて
- ・児童関係各事業所より（わになろう会・ドナルド・療育センター）

- ・児童委員会より実践例の検討／療育センター杉田氏より
- ・実践例の発表を聞いてグループ討議

**第7回 【専門委員会】 10月18日（金）14：00～17：00 中原区役所**

- ・くさぶえの家より自閉症者短期訓練事業の案内
- ・まちづくり委員会…来年度に向けた方向性について検討（地域ケア会議の参加）
- ・児童委員会…中原区の地域課題が他区ではどうなのか検討
- ・地域移行委員会…アンケートを配布し、集計後、課題を明らかにし、来年度につなげる。
- ・なかはらファミリー…10月12日（土）第5回実施。
- ・なかはら健康福祉まつり…マグネットの作成を検討、チラシとともに配布予定。

**第8回 【全体会議】 11月15日（金）14：00～17：00 中原区役所**

- ・まちづくり委員会より、災害時要援護者登録について、二次避難所について説明
- ・すみよし地域包括支援センター佐藤氏より、地域包括の防災への取り組みについて
- ・HUG（避難所誘導ゲーム）の体験・意見交換
- ・11月16日（土）なかはら健康福祉まつりに参加

**第9回 【専門委員会】 12月20日（金）14：00～17：00 中原区役所**

- ・委員会ごとの話し合い（公開報告会について・年間まとめ冊子について）
- ・地域移行委員会…11月に実施したホーム立ち上げ時のアンケート調査の集計

**第10回 【全体会議】 1月17日（金）14：00～17：00 サンライブ**

- ・「命のことづけ」DVD観賞、意見交換
- ・今年度の予算の中間報告、残りの予算の使い道について
- ・1月23日（木）公開報告会について
- ・第6回なかはらファミリー…2月15日（土）（雪のため中止）

**第11回 【専門部会】 2月21日（金）14：00～17：00 中原区役所**

- ・委員会・渉外広報活動ごとに分かれ、来年度に向けて話し合い
- ・次年度の当事者参加について

**第12回 【全体会議】 3月14日（金）14：00～17：00 中原区役所（予定）**

<具体的な取り組み内容>

① 委員会としての取り組み

**まちづくり委員会**

- ・今年度は防災にスポットを当て、中原区の災害対策について検討しました。
- ・避難所・二次避難所の対制や要援護者登録の現状や課題について、中原区高齢・障害課の早坂課長に講義をいただき、災害対策の理解を深めました。
- ・避難所誘導ゲーム（HUG）の体験を通し、実際に震災が起こった時に避難所ではどのようなことが起こりうるのか、避難所を運営する側の視点を学びました。
- ・東日本大震災時のDVD「命のことづけ」を鑑賞し、構成員で意見交換を行いました。



・防災における障害者を取り巻く問題は、日頃からの地域のつながりが大切ということ、地域住民の力は災害時の力となり、協力して発災時の災害を乗り越えていくためにも「防災」というテーマを地域全体で考えていくことの必要性を学びました。



### 地域移行部会

・今年度は7月に、実際に病院からの地域移行を目指している方をゲストスピーカーにお呼びし、『病院から退院してグループホームに入りたい』という想いや、これまでの経緯、これからの目標などインタビュー形式でお話をいただきました。話を聞く中で、短期間で地域移行を進めていくことの難しさや、「段階を踏んで繰り返し取り組む」ことの大切さなどを学びました。

・地域移行を考えた時、受け皿となるホームの数が少ないということや、ホーム開所自体に困難があるという話を受け、情報収集と開所準備の状況、今後の事業展開を調査すべくアンケート調査を実施しました。障害がある方のホームであることを理由に不動産から断られるケースも多く存在することなど運営側の視点から課題を抽出しました。

・アンケート結果を集計し、課題に対して協議会としてどのような形でアプローチできるのか委員会で検討しました。

### 児童部会

・昨年度実施した「生活介護事業所における看護師業務及び医療的ケアに関するアンケート」を集約し、課題を抽出しました。福祉の現場では医師からの指示が受けられない状況で看護師に任されてしまっていること、看護師の業務が不明瞭であること、一人職種で相談できる相手がいないこと等の回答があり、看護師が継続して働くことができる環境づくりが課題であることや、看護師の方が仕事を続けていくためにも、福祉系の看護師の連絡会やネットワークの構築を図り、福祉と医療の連携が取れるような環境整備が必要であることが明らかになりました。

・今年度は実践例の検討にも力を入れました。実践を通し、親の病気やけがによる一時的、緊急的な支援の難しさ、ヘルパー事業所の不足、行政窓口の不明瞭さなどの課題があがりました。

・行政窓口の不明瞭さに関して、児童家庭相談サポート担当の方をお招きし、児童関係の行政窓口についてご説明いただきました。



はじめまして！  
なかはらっくです！！

## ② 渉外・広報活動

### なかはら福祉健康まつり：11月16日（土）

・今年度、中原区地域自立支援協議会のゆるキャラ「なかはらっく」が当事者のイラストから誕生しました。

・当日は中原区地域自立支援協議会のブースを設置し、協議会を広く知ってもらえ

るように、足を運んでくださった方を対象に協議会の印字がされている色鉛筆を配布しました。また、ゆるキャラ「なかはらっく」のぬり絵コーナーを設置し、小さいお子さんがその場でなかはらっくに色付けできるようにし、楽しい時間を過ごしてもらいました。

### 公開報告会 : 1月23日 (木)

・川崎市内の地域自立支援協議会構成員、中原区内関係機関及び一般市民向けに、中原区地域自立支援協議会専門委員会の報告を中心に、取り組み内容の発表を行いました。しかし、一般参加はほとんどなく、協議会メンバーの参加がほとんどであったため、今後の取り組みについては検討が必要です。

### 中原区地域自立支援協議会パンフレット

・今年度は相談支援の再編に伴い、事業所名など、大きく変更があったため、改訂版を作成し、なかはら福祉健康まつり等の機会に配布しました。

### なかはらファミリー : 10月12日 (土)、2月15日 (土) ※2月雪のため中止

・当事者主体の集いの場として、今年度は実行委員3名を中心に活動してきました。自立支援協議会としては活動の後方支援をしており、実行委員と月1回程度の打ち合わせを重ね、当日のプログラムやチラシの作製、参加者の募集をしてきました。当日は、ゲームやししゃべり場で盛り上がりました。



＜次年度はこんなことします！…あるいはこんなことしたいな～＞

- ① 協議会への当事者参加推進について、なかはらファミリーの取り組みを実施している一方で、全体会議や専門委員会への当事者参加は実践例の検討の講師として呼び出した等の実績にとどまっています。今後は、各委員会に当事者や地域の方が参加したり、地域の声が協議会に届けられるような形を考え、実践していきたいです。
- ② 今年度実施した、各委員会持ち回りでの実践例の発表を継続していきたいです。実践を通して感じたことや課題を共有し、解決に向けて様々な立場から考えを出し合うといった協議会の形を大切にしていきたいです。そのためにも構成メンバーの在り方や活発な意見交換ができる雰囲気づくりも検討していきたいです。
- ③ 今年度から地域包括支援センターが自立支援協議会に参加していただき、高齢分野とのつながりができました。特にまちづくり委員会で取り上げた「防災」について、高齢分野では民生委員や町会との連携を密に図っていることを知りました。今後は、地域ケア会議等に参加するなど、地域との連携をさらに深めていきたいと考えています。

文責：なかはら基幹相談支援センター  
広瀬 潤

中原区障害者地域自立支援協議会 構成員

	所属	氏名
1	中原区役所保健福祉サービス課障害者支援係	櫻井 直子
2		吉見 有香
3		山名 昭一郎
4	なかはら基幹相談支援センター	住舎 泰子
5		広瀬 潤
6		井上 文香
7	障害者生活支援センターようこう	大塚 高志
8	もとすみ地域相談支援センター	阿部 千鶴子
9		只野 美緒
10		須藤 さよ
11	地域相談支援センターすまいる	猪野田 丈裕
12		大杉 美保
13	精神保健福祉センター	森江 信子
14	地域生活支援センター カシオペア	鈴木 宏直
15	川崎市中央療育センター 入所部	清水 美由貴
16	川崎市中央療育センター 地域移行推進部	山崎 健一
17	川崎市中央療育センター 通所部	武藤 みや子
18	めいぼう	斉藤 由美
19	わーくす中原	河合 鉄士
20	NPO法人 わになろう会	新井 靖子
21	神奈川県立中原養護学校	加藤 佳子
22	市立聾学校	吉村 秀子
23	聴覚障害者情報文化センター	今宮 清明
24	児童発達支援事業所ドナルド2	酒井 里美
25	ダンウェイ株式会社	光武 知枝美
26	障害者更生相談所	小嶋 和津江
27		飯野 淳子
28	中部就労援助センター	橋本 瞳
29	桜の風	藤野 真一
30		高柳 雄一
31		真野 優作
32	とどろき地域包括支援センター	北川 大
33	みやうち地域包括支援センター	足立 亮一
34	すみよし地域包括支援センター	高橋 遼



## 高津区地域自立支援協議会

<高津区について（平成26年1月末現在）>

人口	:	223,050人
障害者手帳の取得者数	:	身体障害者手帳 5,007人
		療育手帳（判定のみの方は含まず） 1,224人
		精神障害者保健福祉手帳 1,437人

### <高津区地域自立支援協議会の特徴>

- ① 相談支援事業所と保健福祉センターを中心に、構成員は29名となっております。  
月1回の全体会議にむけて、事務局会議で全体的な流れの確認や打ち合わせを実施しています。全体会議の流れは、各種会議の報告及び課題の検討、個別支援経過報告（事例発表）、各専門委員会の取り組みとなっています。
- ② 各専門委員会の取り組みは、3つに分かれており（相談支援・課題整理・ボランティア育成）、それぞれの専門委員会が中・長期的な目標（一昨年度、5年計画を立て、5年後高津区が障害のある方にとって身近な住みよい場所になるようにという目標に向かって取り組んでいます）に向かって、鼎立しています。今年度は3年目の取り組みになります。

### <今年度の目標と方向性>

- ① 専門委員会の中・長期的な目標の確認をしながら、3年目の取り組みとして、具体的な活動を発信できる年度と捉えています。また、地域との交流会等を実施し、地域との交流を深めます。
- ② 個別支援経過報告（事例発表）は、毎月実施します。年間スケジュールに従い、各構成メンバーが各分野からの課題点を共有できるように配慮します。
- ③ 各専門委員会の動きが不透明にならないように、定期的な報告を実施します。各専門委員会の取り組みで、他の委員会との連携が必要な場面では、協力を依頼する体制作りを行います。

### <今年度の区全体会議>

第1回 4月23日（火）13:30～17:00 高津区役所にて

- ◎構成員メンバーの自己紹介
- ◎今年度の協議会組織構成の確認 全体会議での役割分担の確認（進行、記録、事例提出の分担）
- ◎昨年度までの取り組み内容の確認
- ◎各専門委員会の取り組み（①相談支援②課題整理③ボランティア育成）

**第2回 5月28日(火) 13:30~17:00 高津区役所にて**

- ◎各構成員からの課題提出・新年度の動きの報告
- ◎各種会議等報告(①市事務局会議②市全体会議③高津区まちづくり協議会)  
まちづくり協議会の「区内福祉施設めぐりエコバスツアー」に協力。
- ◎検討事項(新規指定特定相談支援事業者の参加について)
- ◎市協議会ワーキングG参加について確認
- ◎個別支援経過報告(精神疾患をもつ女性の支援)
- ◎各専門委員会の取り組み(①相談支援②課題整理③ボランティア育成)

**第3回 6月25日(火) 13:30~17:00 高津区役所にて**

- ◎各種会議等報告(①高津区まちづくり協議会②桜の風入所調整会議)
- ◎就労継続支援B型の取り扱いの変更について確認
- ◎個別支援経過報告(障害福祉サービスから介護保険サービスへの利用移行者について)
- ◎各専門委員会の取り組み(①相談支援②課題整理③ボランティア育成)

**第4回 7月23日(火) 13:30~17:00 高津区役所にて**

- ◎各種会議報告(①事務局会議②基幹相談支援センター運営会議③市協議会課題整理ワーキング④広報ワーキング)
- ◎個別支援経過報告(自閉傾向でホーム近隣の方とのトラブルのある方)
- ◎各専門委員会の取り組み(①相談支援②課題整理③ボランティア育成)

**第5回 8月27日(火) 13:30~17:00 高津区役所にて**

- ◎各種会議報告(①事務局会議②まちづくり協議会③高津区福祉避難所ネットワーク会議)
- ◎各専門委員会からの報告・提案(課題整理委員会より、出前講座の中での役割分担について提案)
- ◎検討事項(まちづくり協議会 交流会について)
- ◎確認事項(①夏休みを楽しく過ごす会 ②特定指定事業者2事業9月より協議会参加と確認)
- ◎個別支援経過報告(家庭環境の変化によりサービスを開始した方)
- ◎各専門委員会の取り組み(①相談支援②課題整理③ボランティア育成)

**第6回 9月24日(火) 13:30~17:00 高津区役所にて**

- ◎各種会議報告(①事務局会議②課題整理ワーキング③広報ワーキング)
- ◎各専門委員会からの報告、提案(①相談支援・・・冊子の内容について検討中  
②課題整理・・・出前講座はメニュー作成中。年内に実施予定③ボランティア育成・・・ボランティアセンター立ち上げについてボランティア団体と打ち合わせ中。具体的内容を詰めているところ)
- ◎確認事項(10月 ケアマネ連絡会との交流会の内容について)
- ◎個別支援経過報告(養護学校の教育目標や内容など)



- ◎各専門委員会の取り組み（①相談支援②課題整理③ボランティア育成）
- 第7回 10月22日（火）13：30～17：00 高津区役所にて**
- ◎各種会議報告（①連絡会議②課題整理ワーキング③広報ワーキング④広報ワーキング）
- ◎検討事項（ケアマネ連絡会との交流会）
- ◎個別支援経過報告（中央療育センターの支援内容について）
- ◎各専門委員会の取り組み（①相談支援②課題整理③ボランティア育成）
- 第8回 11月27日（水）13：30～17：00**
- ◎各種会議報告（①課題整理ワーキング②広報ワーキング③ケアマネ連絡会との交流会）
- ◎各専門委員会からの報告（①ボランティア・「暮らしの応援所・ちょこっと」の説明②課題整理・出前講座の進捗状況）
- ◎検討事項（まちづくり協議会との交流会）
- ◎各専門委員会の取り組み（①相談支援②課題整理③ボランティア育成）
- 第9回 12月24日（火）13：30～17：00**
- ◎各種会議報告（①課題整理ワーキング②広報ワーキング③連絡会議④ええんじゃないか祭り）
- ◎各専門委員会から（課題整理・出前講座デモンストレーション発表）
- ◎検討事項（精神福祉講座）
- ◎確認事項（まちづくり協議会との交流会）
- ◎各専門委員会の取り組み（①相談支援②課題整理③ボランティア育成）
- 第10回 1月28日（火）13：30～17：00**
- ◎各種会議報告（①課題整理ワーキング②広報ワーキング③まちづくり協議会との交流会）
- ◎各専門委員会からの報告（①相談支援・冊子の作成が今年度内にできる予定②課題整理・課題を整理中③ボランティア・暮らしの応援所・ちょこっとについて検討中）
- ◎検討事項（①年間の活動まとめ②今年度の購入物品）
- ◎各専門委員会の取り組み（①相談支援②課題整理③ボランティア育成）
- 第11回 2月25日（火）13：30～17：00**
- ◎各種会議報告（①課題整理ワーキング②広報ワーキング③地域包括支援センターとの意見交換会）
- ◎今年度のまとめ（①専門委員会②情報交換の在り方③企画内容④構成員、当事者参加等について）
- ◎予算、購入物品の確認
- ◎各専門委員会の取り組み（①相談支援②課題整理③ボランティア育成）

## <具体的な取り組み内容>

各専門委員会ともに、5年計画の3年目の取り組みを行っています。

### ◎相談支援専門委員会

現在、それぞれの年齢に合わせた制度やサービスのガイドブックはありますが、網羅したものがあまりないことから、児童期から高齢に至るまでをまとめた冊子を作成中です。今年度は課題点を話し合いながら分担したところを作成しました。来年度は必要なところは修正し、編集の仕方を考えていきながら、より使いやすいものにしていく予定です。

### ◎課題整理専門委員会

- ・議事録用紙に課題点記入欄を設け、区協議会の会議で課題として気づいた事柄を記入することで、課題が出しやすくなるようにしました。また、出された課題については定期的に委員会が集約し、全体で検討していくような枠組みを作りました。

- ・昨年度課題としてあがっていたヘルパー事業所に対する出前講座を実施する予定で、その準備をしています。今年度は、講座で伝えていく内容を決め、区全体会議で発表のデモンストレーションと意見交換をしました。今後、内容の修正をし、来年度実際に行っていく予定です。

◎ボランティア育成専門委員会・「暮らしの応援所・ちょこっと」を立ち上げることを目指して、今年度は具体的な活動内容や場所、準備等について話し合いました。「ちょこっと」は、日常生活のちょっとした困り事へのお手伝いをする場で、当事者もボランティアも、互いに日常生活の中でちょこっと助け合うことのできる場所と考えています。一昨年度、昨年度に社会福祉協議会と共催で実施したボランティア講座の修了者が立ち上げたボランティア団体の参加を得ながら、活動を進めています。

## <次年度はこんなことします！…あるいはこんなことしたいな～>

◎次年度は、高津区地域自立支援協議会で取り組んでいる5年計画の4年目にあたります。相談支援、課題整理、ボランティア育成の各専門委員会ともに、地域に積極的に出ていき、実践を積み重ねていく年にしていきます。

◎3つの専門委員会を中心にしながら、地域の方にもっと知っていただき、ネットワークを広げていくために、広報、交流活動にも力を入れていきます。

文責：たかつ基幹相談支援センター

栗野 まゆみ

高津区地域自立支援協議会 構成員

	所属	氏名
1	たかつ基幹相談支援センター	荒井 恒夫
		中里 友
		越智 貴子
		栗野 まゆみ
2	くさぶえ地域相談支援センター	漆山 敬夫
		小嶋 晃子
		久富 かおる
3	地域相談支援センターゆきやなぎ	河村 裕孝
		田子 洋平
4	地域相談支援センターいまここ	高松 信
		井藁 元子
5	アズサケアサービス	飯塚 英市
6	フルライフスマートケア	河端 和彦
		追川 由美子
7	地域生活支援センターカシオペア	目黒 裕子
8	社会復帰訓練所あやめ作業所	仁木 由紀
9	川崎市立養護学校地域支援部	堀口 晴子
10	県立高津養護学校	坂井 優里
11	高津区社会福祉協議会	渡辺 智子
12	児童発達支援事業所 دونالد	藤田 千鶴
13	川崎市中央療育センター	武藤 みや子
14	精神保健福祉センター	森江 信子
15	障害者更生相談所	竹原 由紀子
		小嶋 和津江
17	高津区役所高齢・障害課	西野 利子
		西川 洋一
		三島 英雄
		山崎 芽依子
		中村 妙子

## 宮前区地域自立支援協議会

### <宮前区について（平成26年1月末現在）>

人口	:	223,455人
障害者手帳の取得者数	:	身体障害者手帳 5,154人 療育手帳（判定のみの方は含まず） 1,260人 精神保健福祉手帳 1,384人

### <宮前区地域自立支援協議会の特徴>

- ① 保健福祉センターと相談支援事業所等を事務局とし、当事者の方、障害福祉サービス提供事業所、養護学校、療育センター、まちづくり協議会、社会福祉協議会と構成員が多岐にわたっています。現在、構成員は30名となっています。
- ② 検討課題を各専門委員会に分けて役割を明確にすることで活動を活発化させ、隔月1回の全体会で報告し情報を共有しています。
- ③ 全体会や専門委員会の進捗状況の把握と運営のため、保健福祉センター・精神保健福祉センター・基幹相談支援事業所・地域相談支援事業所による事務局会議を月1回～2回開催しています。

### <今年度の目標と方向性>

- ・「暮らしやすさを一緒に考えていこう」を目標に取り組みます。
- ・支援者のみの視点での議論とならないよう、当事者が参加しやすいように、募集や参加の方法、会議の内容を検討します。
- ・専門委員会での活動については、昨年度の部会を引き継ぎ行います。専門委員会の中で出てきた課題は、全体で検討できるような機会を設けます。

#### ○重度障害・高齢専門委員会

- ・日中活動事業所職員を対象とした実態調査を昨年度、実施しました。この調査から明らかになった生活課題をもとに、利用者の方が抱えている暮らしづらさについて聞き取り調査を行っていきます。
- ・地域包括支援センターとの継続した交流会や、研修・広報・交流専門委員会と連携し、活動の周知や、役立つ講座などを実施していきます。

#### ○児童専門委員会

- ・具体的な不安の解消に向けて、家族を対象として勉強会の開催を検討します。
- ・教育関係者との連携を充実させていきます。
- ・ガイドブックの作成を行います。
- ・地域講演会への委員の参加を検討します。

## ○研修・広報・交流専門委員会

- ・「地域でくらす」をテーマにして研修や交流会、広報誌『ほっととらいあぐる』の発行などをします。広報の仕方などを工夫し、より多くの方に来ていただけるような企画としていきます。
- ・自立支援協議会や相談支援事業所の活動を知ってもらうため、区民祭への参加など周知に努めます。
- ・昨年度に引き続き、障害者サポーターの内容を検討していきます。

## <今年度の区全体会議>

第1回 5月21日（火）13：30～16：00

- ① 自己紹介
- ② 今年度の取り組みについて
- ③ 平成24年度 研修「住まいについて考える」の報告
- ④ 平成24年度 重度高齢部会アンケートの結果報告
- ⑤ その他

第2回 6月18日（火）13：30～17：00

各専門委員会活動日※専門委員会によっては別日に開催もあり。

第3回 7月16日（火）13：30～16：00

- ① 6月市自立支援協議会事務局会議報告
- ② 当事者参加方法（案）について
- ③ 各ワーキンググループについて
- ④ 6月各専門委員会報告
- ⑤ その他

第4回 8月20日（火）13：30～17：00

各専門委員会活動日※専門委員会によっては別日の開催もあり。

第5回 9月17日（火）13：30～16：00

- ① 市自立支援協議会事務局会議報告、依頼事項について
- ② 区専門委員会周知事項について
- ③ 下半期の予定や協力事項について
- ④ 課題整理アンケートの協議について（防災についてグループワーク）
- ⑤ その他

第6回 10月15日（火）13：30～17：00

各専門委員会活動日※専門委員会によっては別日の開催もあり。

第7回 11月19日（火）13：30～17：00

- ① 市自立支援協議会事務局会議報告
- ② 基幹型連絡会議の報告
- ③ 12月6日地域交流会の進捗状況について
- ④ 2月4日研修会の進捗状況について

- ⑤ 1月以降の区協議会の流れについて
  - ⑥ その他
- 第8回 12月17日(火) 13:30~17:00  
各専門委員会活動日※専門委員会によっては別日の開催もあり。
- 第9回 1月21日(火) 13:30~16:00
- ① 当事者参加の見学者紹介
  - ② 市自立支援協議会事務局会議報告
  - ③ 2月4日研修会の確認について
  - ④ 課題整理の協議について(防災についてのグループワーク)
  - ⑤ その他
- 第10回 2月18日(火) 13:30~16:00
- ① 地域福祉計画素案について(宮前区地域保健福祉課地域福祉係)
  - ② 市自立支援協議会事務局会議報告
  - ③ 2月4日研修会報告
  - ④ 今年度のふりかえりアンケート集計結果報告
  - ⑤ 次年度の計画について
  - ⑥ その他
- 第11回 3月18日(火) 13:30~16:00
- ① 平成26年度 運営体制について
  - ② 平成26年度 年間計画について
  - ③ 各種報告
  - ④ その他

### <今年度のその他の活動>

- ① 平成25年7月31日(水)  
宮前区児童家庭課と相談支援センターとの勉強会を実施。
- ② 平成25年12月4日(水)  
地域包括支援センターとの交流会に参加。

### <具体的な取り組み内容>

#### ○全体会

- ・各専門委員会の報告と協議、市の自立支援協議会の報告などを行いました。
- ・課題を話し合う場として、グループにわかれ「防災」について意見交換を行い、次年度の取り組みについて話し合いました。

#### ○重度障害・高齢専門委員会

- ・日中活動事業所職員を対象とした実態調査を昨年度、実施しました。この調査から明らかになった生活課題をもとに、利用者の方が抱えている暮らしづらさについて聞き取り調査を行いました。

- ・聞き取り調査の結果については、地域の方に知っていただけるよう、12月6日宮前区地域自立支援協議会主催の地域交流会で報告し、ご意見をいただきました。

#### ○児童専門委員会

- ・平成25年8月6日 県内教職員向けの学習会で「福祉と教育の連携」をテーマに情報提供とグループディスカッションをしました。
- ・平成25年8月20日 西部地域療育センターの見学。
- ・平成25年10月22日 高津養護学校および地域の小中学校支援級保護者向けに行われた講演会で「福祉と教育の連携」をテーマに、情報提供と意見交換をしました。
- ・平成25年10月 ふれあい Jr（子ども向け福祉の案内）No1 発行
- ・第3回川崎市自立支援協議会にて、活動報告を行いました。

#### ○広報研修交流専門委員会

- ・平成25年10月1日広報誌「ほっととらいあんぐる」を発行しました。
- ・平成25年11月10日 宮前区民祭に「なんでも相談会」を出店しました。
- ・平成25年12月6日 地域交流会「障がいのある方の『くらし』を考える」を開催し、当事者参加の説明や重度障害・高齢専門委員会の活動報告をしました。また、区内の施設で作る手作り品などの展示も行いました。



- ・平成26年2月4日 宮前区地域自立支援協議会・KISモデルエリア形成事業セミナー「住まいについて考える～このまちで暮らしたいパート2～」を開催し、当事者の方の生活を映像とインタビューで紹介、その他居住支援制度や住宅改修について、KISの福祉用具についても紹介いただきました。



### <次年度はこんなことします！…あるいはこんなことしたいな～>

- ・児童について、ふれあい Jr を3歳～就学前を対象に作成します。
- ・児童について、福祉と教育の連携について、今年度に引き続き夏期公開研修会等に

講師を派遣します。また、区自立支援協議会としても保護者会向けに研修会を開催します。

- 広報誌「ほっとらいあぐる」を発行します。
- 地域住民に向けて、相談窓口がわかるような取り組みを実施していきます。
- 防災について、地域の方とワークショップの開催をしていきます。
- 当事者参加について、当事者の方、またはその家族の方に構成員として参加してもらい、障害のある方の暮らしを一緒に考えていく体制を検討していきます。また、引き続き周知を行い、当事者の方の意見をくみ取れるような機会を設けていきます。



宮前区地域自立支援協議会 構成員

	所属	氏名
1	宮前区身体障害者協会	石山春平
2	川崎市精神障害者連絡会	大窪俊夫
3	いぬくら	秋山明子
4	長尾福祉会	柳澤弘毅
5	なごみ福祉会	渡邊のり子
6	なごみ福祉会	栗原敦子
7	みずき	平木眞利子
8	みずさわ	木村隆史
9	みのり会	山中淳子
10	宮前ふれあいの家	松浦悦子
11	らぼおるの樹	大森裕子
11	まちづくり協議会、地域教育会議	新安裕美子
12	まちづくり協議会	小林はるみ
13	麻生養護学校	西田悦己
14	麻生養護学校	野呂隆
15	高津養護学校	坂井優里
16	宮前区社会福祉協議会	兵藤美幸
17	西部地域療育センター	藤本明國
18	地域ケア連絡会議	田邊夕里
19	川崎市精神保健福祉センター	森江信子
20	更生相談所	藤井隆
21	みやまえ基幹相談支援センター	野原篤
22	みやまえ基幹相談支援センター	北村宏和
23	みやまえ基幹相談支援センター	山本望
24	地域相談支援センターシリウス	有泉加代子
25	地域相談支援センターシリウス	志戸千代子
26	地域相談支援センターれもん	西坂恵里
27	地域相談支援センターれもん	柏木静子
28	地域相談支援センターポポラス	船井幸子
29	地域相談支援センターポポラス	中古翠
30	宮前保健福祉センター高齢・障害課 障害者支援係	植木美津枝
31	宮前保健福祉センター高齢・障害課 障害者支援係	鈴木健人
32	宮前保健福祉センター高齢・障害課 障害者支援係	伊藤朋也

## 多摩区地域自立支援協議会

### <多摩区について（平成26年1月末現在）>

人口		213,348人
障害者手帳の取得者数	:	
	身体障害者手帳	4,703人
	療育手帳	1,125人
	精神保健福祉手帳	1,368人

### <多摩区自立支援協議会の特徴>

- ① 今年度は新たに当事者3名、家族1名が加わり合計7名の当事者と3名の家族の方が全体会議と委員会に参加し活動しています。今年度から新たに当事者委員会を立ち上げました。
- ② 各構成員が課題整理表に基づいたテーマ別に4つの委員会に分かれて活動しており、その活動内容は隔月に行われる全体会議で共有しています。

### <今年度の目標と方向性>

今年度も昨年度に引き続き「地域の人とつながりをつくる」を、協議会全体のスローガンとしました。「地域の人」とのつながりには、具体的な対象や目的が必要と考え、各委員会の中で検討を行います。

委員会活動は、昨年度からの4つの委員会を継続し、新たに当事者委員会を立ち上げました。また、昨年度に麻生区と合同で行ったケアホーム、グループホームへの調査のまとめは、課題整理とりまとめ係内より担当を選出し継続します。

#### ・各委員会の目標

- ① 日中活動委員会  
軽度知的障害者の交流会を継続します。  
日中活動先についての検討は、テーマを絞って行います。
- ② ライフサイクル委員会  
区内居宅介護事業所間の連絡会議を設定し特徴的なサービスなどの情報交換をします。  
どのようなニーズによりサービスが不足しているのか現状把握をします。
- ③ 災害委員会  
自助、共助、公助、のうち共助に関する検討を中心に地域とのつながりを模索します。  
「おたすけカード」の普及・啓発を継続します。
- ④ 就労委員会  
就労についての視点の共有化のため事例検討を行います。  
川崎市での就労支援の現状を把握し多摩区でできることが何かを検討します。
- ⑤ 当事者委員会  
新しい構成員が増え当事者同志お互いのことをもっとわかり合い、何かできることがあるのではないか、協議会の内容などでわかりにくい部分があれば確認する場として活用する時間にしてみたいのではないかということで立ち上げました。

## ＜今年度の区全体会議＞ 毎月第1火曜に実施

報告を主とした会議月とグループ討議を主とした会議月を交互に行いました。

- 第1回 4月2日(火) 13:30~15:30 多摩区役所  
今年度の自立支援協議会について  
① 構成員自己紹介  
② 自立支援協議会について(手引きを引用し説明)  
③ 委員会 係について説明、希望表配布
- 第2回 5月7日(火) 13:30~15:30 多摩区役所  
各委員会に分かれて着席  
① 川崎市地域自立支援協議会の体制の説明  
② 年間計画について  
③ 各委員会顔合わせ、今年度の代表者決め、開催日調整等。
- 第3回 6月4日(火) 13:30~15:30 多摩区役所  
① 各委員会・係名簿確認  
② グループ討議「地域での困り感を共有する」  
KJ法を用い3グループに分かれて行う。
- 第4回 7月2日(火) 13:30~15:30 多摩区役所  
① 各委員会 係の報告  
② 6月のグループ討議のまとめを報告  
③ 川崎市自立支援協議会事務局会議の報告
- 第5回 8月6日(火) 13:30~15:30 多摩区役所  
① 予算の使用方法について  
② グループ討議「情報」
- 第6回 9月3日(火) 13:30~15:30 多摩区役所  
① 各委員会・係の報告  
② グループ討議「情報」のまとめを報告  
③ 川崎市自立支援協議会事務局会議の報告
- 第7回 10月 1日(火) 13:30~15:30 多摩区役所  
① 区パンフレット、たまネットについて  
② グループ討議「すまい」
- 第8回 11月 5日(火) 13:30~15:30 多摩区役所  
① 各委員会・係の報告  
② グループ討議「すまい」のまとめを報告  
③ 川崎市自立支援協議会事務局会議の報告
- 第9回 12月 3日(火) 13:30~15:30 多摩区役所  
① グループ討議「余暇」

- ② 協議会予算執行状況について
- 第10回 1月 7日(火) 13:30~15:30 多摩区役所
- ① 各委員会・系の報告  
② グループ討議「余暇」のまとめを報告  
③ 協議会のアンケート配布 記入  
③ 川崎市自立支援協議会事務局会議の報告
- 第11回 2月 4日(火) 13:30~15:30 多摩区役所
- ① 各委員会・系の報告  
② 次年度の体制について(アンケート集計途中経過、体制素案提示)
- 第12回 3月 4日(火) 13:30~15:30 多摩区役所
- ① 各委員会・系報告 まとめと次年度の取り組みについて  
② 自立支援協議会について次年度素案を提示しグループ討議  
③ 川崎市自立支援協議会事務局会議の報告

#### ＜事務局会議＞ 毎月第3火曜午後実施

全体会議前に毎回実施。

全体会議にて報告する内容の確認、会議の運営方法や検討事項について話し合いました。

#### ＜その他 係活動など＞

- ① パサージュ・たま
- ・毎月1回、多摩区役所内1階連絡通路アトリウムにおいて障害者福祉施設、団体が紹介及び製品販売活動等を行っていますが、協議会でも広報・啓発を目的としてパネル展示をしました。
- ② たまふれあい祭り
- ・毎年6月に多摩区役所内で開催される当イベントにおいて、広報・啓発を目的としてパネルの展示や協議会パンフレットを配布しました。
- ③ 広報担当
- 1) 広報紙「たまねっと」の発行  
平成19年より発行していますが通算13号となる秋号を作成し、町内会での回覧と区内関係事業所に配布しました。
  - 2) 区自立支援協議会のパンフレットの作成、発行、配布。
  - 3) ホームページの立ち上げ  
全体会議の内容や委員会の取り組みを掲載しています。
  - 4) 市協議会広報ワーキングへの参加  
市協議会パンフレットの作成協力や各区の広報に関する情報交換をしました。
- ④ 課題整理取りまとめ担当
- 1) グループ討議での内容をまとめて全体会議で報告しました。
  - 2) 市協議会課題整理ワーキングへの代表として2名参加。
  - 3) GHCHまとめの担当として2名参加。

#### 4) その他課題全般の整理

##### <具体的な取り組み内容>

###### ・全体会議

2カ月に1回の割合で各委員会の活動報告を行いました。委員会以外の構成員から意見を出し合い、取り組み内容を修正したり、加えたりすることで、委員会がより一層テーマを深められるような場としました。

6月に、小グループに分かれて、KJ法を利用して多摩区内での困り感を出しあい、その結果を10の課題に区分けしました。8月は「情報」10月は「すまい」、12月は「余暇」をテーマとして小グループに分かれて討議しました。討議された内容は、課題整理取りまとめ係でまとめを行い全体会議で報告しましたが、次年度に取り組みができるかどうかは検討中です。

1月には構成員にアンケートを実施し、協議会の活動の振り返りと改善したい点を記入してもらい、次年度の体制作りへの参考としました。

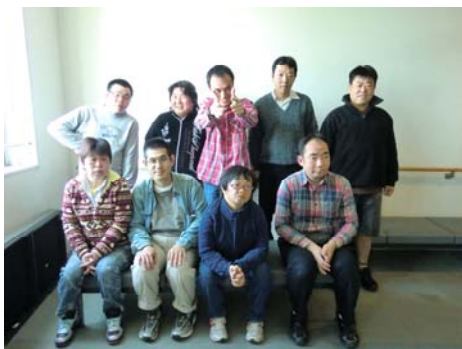
###### ・グループホーム・ケアホーム委員会（麻生区と合同開催）

昨年度グループホーム・ケアホームに関わる課題をテーマとし、同様の課題を持つ麻生区と共同で、両区内全グループホーム・ケアホームの入居者・世話人および管理者に対して実態調査をしました。そのまとめを25年度も引き続き麻生区と共同で行い、集計結果から課題を抽出して整理し冊子にまとめました。

###### ・日中活動委員会

軽度知的障害者の余暇の過ごし方については「どのように過ごしてよいのか分からない」「一緒に遊びに行く友人が少ない」等の声があることから、24年度より交流の場（みんな交流会）を開催しています。今年度はおよそ2カ月に1度のペースで開催し合計5回実施し、最多で9名の参加がありました。内容は主にいろいろな話をする場です。回を重ねるごとに打ちとけ合い、街で出会った時も声を掛け合う仲になっているようです。また、大学のボランティアサークルにも声をかけて、一緒に交流会を盛り上げてもらいました。

もう一つの柱である日中活動先の検討については、入浴のできる事業所の一覧を作成することとなり、区内及び近隣の区の通所施設を対象にアンケートを実施しました。その結果の報告までは行い、更にリーフレットにして活用できるようにする予定です。



交流会参加者



多摩区役所1階 せきれい にて

- ・ライフサイクル委員会

サービス提供事業所がなかなか見つからない、などの課題があることから区内の居宅介護事業所に声をかけ「ヘルパー事業所のつどい」を開催し情報交換の場を設けました。障害者にヘルパーを派遣している事業所が集まることは初めてのことで、集まった事業所からは再度開催してほしい等の声が上がったため、第2回も開催しました。

- ・災害委員会

共助の取り組みとして、地域住民懇談会に出席し関わりのきっかけをつかみました。

23年度に作成した「おたすけカード」の更なる普及・啓発を図るため、多摩区防災フェアへの参加やたまふれあいまつり、パサージュたまでの配布を行いました。

紙質を再生紙から黄色の厚紙に変更したことにより、わかりやすいものとなり手に取る方が増えたようです。

DVD「逃げ遅れる人々」を購入し上映会を実施し、今後の課題について話合いました。

- ・就労委員会

障害者の就労に関する現状を市の就労担当者より説明してもらい情報共有しました。

就労支援を行っている区内の事業所に声をかけ、就労定着支援についての事例検討会を開催し生活支援との連携について課題となっていることを確認しました。

- ・当事者委員会

自分たちで、できることは何かを話し合った結果、市が発行している「ふれあい」について当事者の視点から使いやすいものにしていきたいということとなりました。使いやすい「ふれあい」になるように意見をまとめています。次年度発行までに間に合う分だけでも意見として市へ提出したいと考えています。

誰もが住みやすい街をめざし、登戸周辺のバリアフリーマップの作成に着手しています。

### <次年度はこんなことします！…あるいはこんなことしたいな～>

- ・全体会議に参加している構成員が、区内の課題に対する共通認識や情報交換ができるような会議を目指します。そのためには小グループに分かれて、いろいろな方との意見を交換できるように組み立てていきます。

- ・各委員会においては、それぞれに挙がっている課題の解決に向け、より一層の推進をしていきます。

- ・多摩区の当事者参加の要項で任期は2年と定めているので、次年度は当事者募集を行う年となります。これまで参加されている方の今後の協議会への関わり方や募集方法について検討します。

- ・相談支援事業所を主体とした研修や児童や高齢部門との地域連携をめざすネットワーク会議を行う予定で検討しています。

(文責：牧田 奈保子)

多摩区地域自立支援協議会 構成員

	所属	氏名
1	たま基幹相談支援センター	牧田 奈保子
		白石 大樹
		藍澤 温代
2	地域相談支援センター アベク	馬場 泰子
		山下 義仁
3	地域相談支援センター いろはにこんぺいとう	尾崎 雄久
		矢島 瑞穂
4	地域相談支援センター ドルチェ	酒井 路子
		加藤 主力
5	神奈川県立麻生養護学校	西田 悦己
		野呂 隆
6	紙ひこうき	吉良 和美
		金森 孝之
7	かわさきさくら児童家庭支援センター	安藤 ユキ子
8	川崎西部療育センター	田幸 恵美
		横川 輝美
9	サポートセンター ロンド	梅木 五十嵐
		遠藤 真紀子
10	多摩川あゆ工房	飯島 克己
11	多摩区社会福祉協議会	外記 佳子
12	ヘルパーステーション夢花	前田 大輔
13	北部地域療育センター	安藤 紀隆
14	北部リハビリテーションセンター 在宅支援室	安保 博史
15	百合丘就労援助センター	小崎 亜希子
16	百合丘障害者センター	根岸 葉子
17	多摩区役所高齢・障害課	富沢 美奈子
		妹尾 栄美
		草川 明子
		一ノ瀬 敏世
18	当事者	7名
19	当事者家族	3名

## 麻生区地域自立支援協議会

〈麻生区について（平成26年1月末現在）〉

人口		173,668人
障害者手帳の取得者数	：	
	身体障害者手帳	3,848人
	療育手帳（判定のみの方は含まず）	839人
	精神保健福祉手帳	974人

### 〈麻生区自立支援協議会の特徴〉

- ① 麻生区自立支援協議会の構成員について  
相談支援事業所（4ヶ所）と保健福祉センターを中心に、障害福祉サービス提供事業所、就労支援機関、教育機関、障害者（児）の専門機関、区社会福祉協議会、地域包括支援センター、当事者からの参画を頂き、運営をしています。
- ② 麻生区自立支援協議会の実施状況について  
運営会議（月1回）と全体会議（月1回）を実施しています。  
そのほか、各委員会で適宜打ち合わせや企画を実施しています。  
運営会議では、相談支援事業所、保健福祉センターや専門機関が集まり、全体会議で行う内容や委員会の取組について確認を行っています。  
全体会議では、
  - ①各委員会に分かれ、協議を進める月、
  - ②支援経過検証、当事者委員の自己紹介等、協議会全体で麻生区の課題の検討や見聞を深める月、を交互に行っています。

### 〈今年度の目標と方向性〉

今年度の麻生区は、重点テーマとして、「麻生区の福祉ニーズについて、障害の各分野から支援経過検証を行い、麻生区の地域福祉の課題を整理していく。また、委員会の充実を図り、障害者（児）への支援をすすめていく」としています。

今年度は、川崎市相談支援事業再編に伴い、構成員が大幅に入れ替わっていますが、基本的には昨年度の体制を踏襲しつつ、実際の運営や活動を通して改善や提案を取り入れる様進めています。

### 〈今年度の区全体会議と委員会の活動について〉

第1回 4月17日（水曜日） 13:30～16:00 麻生区役所にて

◎新年度について 各構成員の自己紹介

◎区自立支援協議会各委員会の役割分担決め、今年度の活動方針の確認  
（課題整理委員会 児童委員会 当事者委員会 広報啓発委員会）



**第2回 5月15日(水曜日) 13:30~16:00 麻生区役所にて**

- ◎麻生区地域自立支援協議会開催要項(案)読み合わせと確認
- ◎川崎市地域自立支援協議会設置要綱、区協議会運営要領、運営の手引き内容確認
- ◎市自立支援協議会事務局会議報告
- ◎各事業所からの近況報告、企画案内等
- ◎区自立支援協議会各委員会協議(協議後 参加者全員で協議内容の共有)

**第3回 6月19日(水曜日) 13:30~16:00 福祉パルあさおにて**

- ◎市自立支援協議会事務局会議、ワーキンググループ報告
- ◎区自立支援協議会各委員会報告
- ◎当事者構成員自己紹介
- ◎地域課題検討(金銭管理について)

**第4回 7月17日(水曜日) 13:30~16:00 福祉パルあさおにて**

- ◎市自立支援協議会事務局会議、ワーキンググループ報告
- ◎各事業所からの近況報告、企画案内等
- ◎区自立支援協議会各委員会協議(協議後 参加者全員で協議内容の共有)

**第5回 8月21日(水曜日) 13:30~16:00 麻生区役所にて**

- ◎市自立支援協議会事務局会議、ワーキンググループ報告
- ◎各事業所からの近況報告、企画案内等
- ◎支援経過検証(日中活動事業所における相談支援の担当者がいない方の支援について)
- ◎区自立支援協議会各委員会報告

**第6回 9月18日(水曜日) 13:30~16:00 北部リハビリテーションセンターにて**

- ◎市自立支援協議会事務局会議、ワーキンググループ報告
- ◎区自立支援協議会各委員会協議(協議後 参加者全員で協議内容の共有)

**第7回 10月17日(水曜日) 13:30~16:00 北部リハビリテーションセンターにて**

- ◎市自立支援協議会事務局会議、ワーキンググループ報告
- ◎各事業所からの近況報告、企画案内等
- ◎支援経過検証(家庭の支援が必要な児童だが、家庭からニーズが挙がってこないケース)
- ◎区自立支援協議会各委員会報告

**第8回 11月20日(水曜日) 13:30~16:00 麻生区役所にて**

- ◎市自立支援協議会事務局会議、ワーキンググループ報告
- ◎各事業所からの近況報告、企画案内等

◎当事者構成員自己紹介

◎区自立支援協議会各委員会協議（協議後 参加者全員で協議内容の共有）

**第9回12月18日（水曜日） 13：30～16：00 麻生区役所にて**

◎市自立支援協議会事務局会議、ワーキンググループ報告

◎各事業所からの近況報告、企画案内等

◎支援経過検証（相談支援紹介および実際、日中の過ごし方、遠隔地における課題、本人の感想）

◎グループ討議

**第10回1月15日（水曜日） 13：30～16：00 麻生区役所にて**

◎児童委員会ピアサポーター紹介、意見交換

◎市自立支援協議会事務局会議、ワーキンググループ報告

◎各事業所からの近況報告、企画案内等

◎区自立支援協議会各委員会協議（年度まとめ：協議後 参加者全員で協議内容の共有）

**第11回2月19日（水曜日） 13：30～16：00 麻生区役所にて**

◎各事業所からの近況報告、企画案内等

◎平成25年度麻生区自立支援協議会のまとめ

**第12回3月19日（水曜日） 13：30～16：00 麻生区役所にて（予定）**

◎平成26年度麻生区自立支援協議会について

**〈委員会取組報告〉**

**◎児童委員会**

昨年度から引き続き、児童保護者のピアサポート活動を企画しました。今年度は、昨年の活動を振り返り、小学校特別支援級の保護者会の場で活動を行っております。ピアサポーターに対する研修を行い、平成26年2月に1校でのピアサポート活動を実施し、好評を得ることができました。

フローチャート作成については、現在も作成を進めており、年度内に素案が完成する予定です。

**◎当事者委員会**

麻生区では平成24年度に初めて当事者構成員の公募を行い、現在4名の当事者が参加しています。今年度は「互いを知る」ことを目的に、当事者構成員自己紹介を実施し、委員会内でも事業所紹介を行うなど、相互理解を図りました。麻生区では当事者構成員の人数を8名としており、規定人数の参加を目指して今年度も公募を行いました。結果として6名の参加希望者の応募があり、応募者全員を来年度の活動に迎え入れることを決定しました。

今年度は募集が活動の中心となり、年度内で当事者委員の参加のあり方についてなどの十分な論議を行うには至りませんでした。当事者委員からは当事者参加のあり方と

いうテーマにとどまらない、より具体的な地域課題の改善への取り組みへの参加が熱望されているところです。

### ◎課題整理委員会

今年度は、平成24年度多摩区と共同で行ったGH・CH調査の集計及び分析を行っており、今年度末には完成する予定です。

これまでに出了された麻生区の課題を検討すること、最新の生活課題を知る機会として、昨年度に引き続き支援経過検証を行いました。具体的には、全体会議の場において、全体討議としてこれらのテーマを提供し、課題の検討を行いました。支援経過検証は、当事者委員自己紹介と並んで好評を得た一方、その結果からはどのような地域課題が表出できたか、その点の検討が不十分との声も多く、進め方に課題も残されました。

### ◎広報啓発委員会

今年度も民生委員児童委員協議会に出席し自立支援協議会の活動を紹介しました。まずは民生委員、児童委員の皆様に対し全体的な周知を行うことを重視したため、各地区の民生児童委員協議会への出席を行うまでには至りませんでした。

広報誌については、今年度第1号を発行し、年度末に第2号を発行する予定です。

区協議会マスコットキャラクター「エール君」を、広報の各場面で取り入れ、協議会の区民に対する親しみやすさに努めています。

協議会参画事業所紹介小冊子の改定を進めていますが、来年度の早い段階に発行できる様、現在作成作業を進めています。

全体的には取り組む内容が多く、やや手を広げすぎた感もあり、進め方や体制に課題が残りました。



### 〈次年度の活動について〉

今年度は基本的に平成24年度の成果と課題に基づき、委員会構成も前年度を踏襲する形で活動を行ってきました。

全体として得られた成果は前記各委員会の報告のとおりですが、一方で前年度体制を踏襲したがゆえに体制の形骸化が否めない、という反省点もありました。

次年度は前記反省点を踏まえたうえで、これまで麻生区地域自立支援協議会で標語にしてきた

「あ」たたかい 「さ」さえあい 「お」つきあい

を今一度確認し、当事者委員が地域課題検討に対し、より主体的に参加、提言できる様、体制作りを重視していきたいと考えています。さらに、麻生区の地域課題とは何か、という原点に帰り、次年度初期の段階から、構成員それぞれが感じている地域課題の表出及び整理を行い、それを元に速やかに新体制を構築していきたいと考えています。

文責： あさお基幹相談支援センター 淵上 正道

麻生区地域自立支援協議会 構成員

※順不同

1	あさお基幹相談支援センター	高橋幸治 田島美幸 淵上正道 手川房子
2	地域相談支援センター柿生	碓井友紀 角山正敏
3	地域相談支援センターそれいゆ	大場幸 小松江美
4	地域相談支援センターひまわり	望永和美 戸室映太
5	百合丘地域生活支援センターゆりあす	長尾綾乃
6	百合丘障害者センター	根岸葉子
7	北部リハビリテーションセンター 百合丘障害者センター在宅支援室	浦雄司
8	北部地域療育センター	若井宏真
9	県立麻生養護学校	小玉美津子
10	麻生区社会福祉協議会	松永剛
11	ひびき工房ペリ	高橋不二雄
12	ひだまり工房	國米リリ子
13	2にん3きゃく	坂爪順
14	がぁでん・ららら ハーブカフェ・ららら	大友わかさ
15	東百合丘タイムケアセンター	中村光世子
16	障害児音楽コミュニケーション「YouYouクラブ」 片平タイムケアセンター	小幡久美子 小幡富士雄
17	川崎市柿生学園	堀進一
18	地域包括支援センター（虹の里）	内井義行
19	百合丘日中活動センター	安保敦子
20	百合丘就労援助センター	小崎亜希子
21	かわさきさくら児童家庭支援センター	中内麻美
22	アルデンテ	矢野淳一
23	しらかし園	中山良介

24	働くしあわせ	市川地歩
25	くりの丘	丸山裕介
26	当事者の方 4名	島田晃 中野義治 津田維明 中川達也
27	麻生区保健福祉センター（事務局）	松野真樹子 村野朋美